

氏名	中村 高仁	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	神経理学療法学				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2003年東京都立保健科学大学保健科学部理学療法学科、2012年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程、2024年東京都立大学大学院人間健康科学研究科博士後期課程				
経歴	2007.4～2019.3 医療法人敬愛会リハビリテーション天草病院 2019.4～現在 埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Reactive Turning Behavior in Older Adults: Age Related Decrease is Evident under Increased Task Demand	共著	あり	○	Exp Aging Res, 1-16, 2024	<u>Nakamura T</u> , Suda Y, Higuchi T.	2024.12
2	高齢者の急な方向転換動作における課題の切り替え条件付与の影響	共著	なし		臨床歩行分析研究会誌 11 (2) 51-58, 2024	<u>中村高仁</u> , 樋口貴広	2024.12
3	脳卒中片麻痺者の運動単位動員様式は病期により異なる特徴を示す	共著	あり		理学療法学, 52(1), 20-27	伊藤実央, 伊藤貴紀, <u>中村高仁</u> , 国分貴徳	2025.2
4	脳卒中後片麻痺を呈する生活期同名半盲者の歩行時視線行動への支援	共著	なし		専門リハビリテーション, 23, 1-7	<u>中村高仁</u> , 三井直人, 西尾尚倫	2025.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	生活期脳卒中後同名半盲者の自主的眼球運動練習による視線行動の変化	共同	第21回日本神経理学療法学術大会		○ <u>中村高仁</u> , 三井直人, 西尾尚倫		2024.9
2	高齢者の急な方向転換動作改善を目指した新たなステップ練習課題の提案	共同	第29回日本基礎理学療法学術大会		○ <u>中村高仁</u> , 樋口貴広		2024.10
3	構え姿勢の違いによるサイドステップ反応の筋活動探索	共同	第29回日本基礎理学療法学術大会		○山崎千聖, <u>中村高仁</u> , 国分貴徳		2024.10
4	変形性膝関節症患者における運動学的特徴と軟骨下骨病変の量的特徴との関連	共同	第29回日本基礎理学療法学術大会		○小島理志,黒尾元基,畑純一, <u>中村高仁</u> ,国分貴徳		2024.10
5	脳卒中片麻痺者の歩行の回復過程を捉える指標の検証	共同	第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会		○石井貴朗, 瀧澤快至, <u>中村高仁</u>		2024.10
6	体幹加速度指標に着目した脳卒中片麻痺者の歩行評価	共同	第32回埼玉県理学療法学会		○石井貴朗, 瀧澤快至, <u>中村高仁</u>		2025.1
7	脳卒中片麻痺者における病期の違いによる運動単位動員様式の解明	共同	第32回埼玉県理学療法学会		○伊藤実央, 伊藤貴紀, <u>中村高仁</u> , 国分貴徳		2025.1
8	ステップ動作時の急な足の接地位置変更に伴う身体重心制御の変化	共同	第32回埼玉県理学療法学会		○鈴木光, <u>中村高仁</u>		2025.1
9	Association Between Kinematic and Quantitative Features of Subchondral Bone Lesions in Patients with Pre- and Early-Knee Osteoarthritis.	共同	ORS 2025 Annual Meeting 会		○Kojima S,Kuroo M, Hata J, <u>Nakamura T</u> , Kokubun T		2025.2
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						

2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学研究費補助金研究活動（基盤研究C）		慢性期脳損傷者の移動能力改善を目指すための視線行動評価と眼球運動訓練の開発	研究代表者	2023.4～2026.3
2	埼玉県立大学奨励研究A研究		課題の切り替え条件を付与したステップ動作における制御メカニズム検証	研究代表者	2024.4～2025.3
3. 教育業績					
（1）講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	神経運動器機能学	○	15	3年生に対し、神経運動器障害を有する患者への運動療法について講義	
（2）演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	基礎運動療法学演習		2	1年生に対し、バランスと理学療法について演習	
2	理学療法特別演習		1	4年生に対し、国家試験に関わる神経障害領域の解説	
（3）実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	理学療法評価学実習	○	21	2年生を対象に理学療法評価の実践的方法について実習	
2	運動学実習	○	20	2年生に対し、筋張力と関節トルク、感覚運動連関をテーマに実習	
3	神経障害理学療法学実習		8	2年生に対し、神経障害理学療法について実習	
4	応用運動療法学実習		8	3年生に対し、脳卒中片麻痺者への応用運動療法について実習	
5	ヒューマンケア体験実習	○	2024.9	科目責任者として担当教員の総括	
（4）論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2024.4～2024.12	主指導	7名	副指導 名
2	修士論文	2024.4～2025.1	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員） 2名
3	博士論文	2024.4～2025.1	主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員） 2名
（5）その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
（1）講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	埼玉未来大学	埼玉未来大学	楽しく体力アップ	2024.5	
2	埼玉未来大学	埼玉未来大学	健康長寿プログラムのエビデンスと習慣化に向けて	2024.6	
3	埼玉県理学療法士会後期研修部研修会	埼玉県理学療法士会	ヒトの姿勢・運動制御に関する研究を臨床にどう活かせるか？	2024.6	
4	まちなかキャンパス	埼玉県立大学	楽しく体力アップ	2024.7	
5	臨床教育実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学	脳卒中片麻痺者に対する理学療法	2024.8	
（2）国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称		任期
1	埼玉県理学療法士会		編集部員		2024.4～2025.3
2	専門リハビリテーション研究会		編集部員		2024.4～2025.3
（3）ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称			内容	年月
1	該当なし				
（4）その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	該当なし				

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	学生支援委員会	2024.4~2025.3
2	学生支援	1 年副担任	2024.4~2025.3
3	大学広報活動	オープンキャンパス	2024.6, 8月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		